

一括審査方式の試行について

福岡県県土整備部では、入札参加者・発注者双方の入札手続きの事務負担軽減を図るため、平成30年8月から一般競争入札（総合評価方式）における一括審査方式を試行しています。

これまで、入札参加申込者からの提出物は、

技術資料（簡易な施工計画を除く） 1部

としておりましたが、今回、更なる事務負担軽減を図ることを目的として、県道久留米柳川線（久留米市2工区）西鉄跨線橋橋梁下部工（P2）工事外2件では、

技術資料（簡易な施工計画を含む） 1部

として試行を実施しますので、ご注意ください。

● 本工事案件での一括審査方式の概要

- （1）一括審査方式対象の複数工事の入札公告を一括して行います。
- （2）入札参加者は、一括審査対象の全ての工事又は希望する工事の入札に参加することができます。
- （3）配置予定技術者は、一括審査対象工事のうち、複数の工事に参加を希望する場合でも、同一の技術者を配置してください。
- （4）簡易な施工計画の作成は次のとおりとします。
 - ・ P2工事を対象として作成してください。
 - ・ その他の工区については、P2工事と同様の内容をそれぞれの工区の現場条件に合わせて実施することとしますので、すべての工区で実施可能な内容で作成してください。
 - ・ P2工事に参加を希望しない場合でも、簡易な施工計画についてP2工事で作成してください。